

科目名	ビジネス倫理学	科目分類	■専門科目群 (第1グループ) □総合科目群 (第2グループ)	
			経済学科	□必修 ■選択
			学科	□必修 □選択
英文表記	Business Ethics	開講年次	□1年 □2年 ■3年 □4年	
ふりがな	にしまき じょうじ	開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中	
担当者名	西巻 丈児	修得単位	単位	
授業のテーマ	<p>ビジネスの価値基準 (例えば、利潤や業績の高低など) と、人間の行為における善悪 (例えば、「～するべきだ」、「～するべきではない」など) を扱う倫理学の価値基準を掛け合わせたところに成立する、応用倫理学の一分野が「ビジネス倫理学」である。</p> <p>例えば、非倫理的なことをしているが業績は好調である企業と、人のためになっているが業績は低調な企業などに関して、それぞれの業績と倫理的な価値を共に高くしていくためには、いかにしたらよいかを考えるのもその一例である。</p> <p>本授業では、営利を目的とする企業の基本的性格を理解するとともに、倫理観の見つめ直しを通じて、ビジネス倫理の実践が企業の存続に必要な不可欠であることを理解する。</p>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス倫理学の本質と意味を説明できる。 ・ビジネス倫理学の必要性を説明できる。 			
授業概要	<p>現代社会においては、さまざまな場面で倫理の必要性が叫ばれている。倫理の必要性は、企業側だけに求められるものではなく、消費者側にも倫理観に敏感なることが要求されている現状がある。</p> <p>この授業では、まず理論的な倫理を理解することから始め、ビジネスの場面で実際に起こったケースを見ることによって、現場からの実践としての倫理の側面も学ぶ。その結果、理論と実践を併せ持った、より現状に則したビジネス倫理を考えていく。</p>			
授業計画				
第1回	イントロダクション ―なぜビジネス倫理学を学ぶのか―			
第2回	ビジネスの倫理学とは			
第3回	理論としてのビジネス倫理			
第4回	倫理的利己主義とリバタリアニズム			
第5回	功利主義と費用・便益分析			
第6回	義務論に基づくビジネス倫理			
第7回	正義論に基づくビジネス倫理			
第8回	実践としてのビジネス倫理			
第9回	従業員関連の倫理			
第10回	顧客関連の倫理			
第11回	地域社会の倫理			
第12回	国際ビジネスの倫理			
第13回	制度としてのビジネス倫理1 ―企業内制度―			
第14回	制度としてのビジネス倫理2 ―民間支援制度―			
第15回	まとめ			
第16回	定期試験			
授業時間外の学習	<p>予習：(1.5時間程度)</p> <p>授業で取りあげる内容に沿って、事前にテキストを読んでおく。</p> <p>また、企業の行動と倫理に関する情報について、書籍・ニュースなどを授業内で紹介するので、そこでは何が問題とされ、問題の所在がどこにあるのかなど、自分なりに分析しておくこと。</p> <p>復習：(1.5時間程度)</p>			

	<p>① 授業を振り返って内容を整理する。</p> <p>② 理解できていない事柄を、次の授業で適確に質問できるよう用意する。</p>
履修条件 受講のルール	<p>教科書を必ず購入すること。</p> <p>予習・復習を必ずして、積極的に授業に参加すること。</p>
テキスト	『ビジネスの倫理学』梅津光弘 丸善出版
参考文献・資料	授業内で適宜指示する。
成績評価の方法	<p>毎回提出してもらったアクションペーパーによる理解度（40%）、定期試験（60%）を総合的に評価する。</p> <p>出席回数が規定に満たない場合、授業料その他納入金が未納の場合は、試験を受けることができない。</p> <p>また、欠席、遅刻、私語、居眠り、無断退出等については減点の対象とする。</p>
オフィスアワー	
成績評価基準	<p>平成28年度（2016）以降入学した学生 秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)</p> <p>平成27年度（2015）以前に入学した学生 優(100～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)</p>
学生への メッセージ	<p>将来社会に出て、企業の一員となったときにどのような行動をとるべきか、今から各自の倫理観を培うことを心がけるようにしよう。</p> <p>消費者という現身分においては、ビジネスの倫理に敏感になろう。</p>